

世界脳週間京都講演会

ようこそ

脳科学の最先端へ

世界脳週間 2021

脳を知る。
創る。守る。育む。

主催 特定非営利活動法人 脳の世紀推進会議

共催 国立研究開発法人 理化学研究所 脳神経科学研究センター／(公財)ブレインサイエンス振興財団

協力 日本神経科学学会／日本神経化学会／日本神経回路学会

World Brain Awareness Week

令和3年7月14日 水 14:30~16:00

開催趣旨

主催者 特定非営利活動法人 脳の世紀推進会議
理事長 津本忠治

「世界脳週間」とは、脳科学の科学としての意義と社会にとっての重要性を一般に啓発することを目的として、世界的な規模で行われるキャンペーンです。

アメリカでは神経科学学会が中心となり、1992年から毎年3月に「脳週間」を設け、公開講演・討論、病院や研究所の公開、学校訪問などの公開行事を企画し、実施してきました。それに呼応して、1997年からヨーロッパにおいても「脳週間」が実施されています。この両者が連携して1999年には同時期に「脳週間」を開催、さらに2000年からは、国際脳研究機構やユネスコの後援を受け、アジア、南米・アフリカの各国にも呼びかけ、「世界脳週間」と銘打って世界的な規模に拡大しました。

我が国もこの「世界脳週間」の意義に賛同し、本法人が主体となり、高校生を主な対象として2000年より参画してきています。我が国においては、高校生が参画しやすいようにするため、各地の高等学校の既存行事を重ならないように必要に応じ、主に3月中旬から夏休みにかけて企画されています。また、これらの行事には、高校の先生方にも参加をお願いしております。

皆さまの積極的な参加を期待しております。

京都神経科学グループ
代表 河田光博・櫻井芳雄

世界はすごいスピードで動いています。情報も凄まじい勢いで、私たちに働きかけてきます。そんななか、じっくりと物事を考え、何かをつかみ、良いものはいいと判断できる基盤が求められます。脳を深く知り、創造的な試みにチャレンジし、新型コロナウイルス感染症や認知症をはじめ多くの病気から脳を守り、そして健全な脳を育むことは21世紀に生きる私たちの務めです。

高校生の皆さん、脳科学という新たな世界にいっしょに入り、ワクワクする科学の喜びを感じつつ、感性と知性のハイブリッドカーに乗ってみませんか。

新型コロナウイルス感染予防対策を万全にして講演会を行いますので、ご協力のほどお願いします。

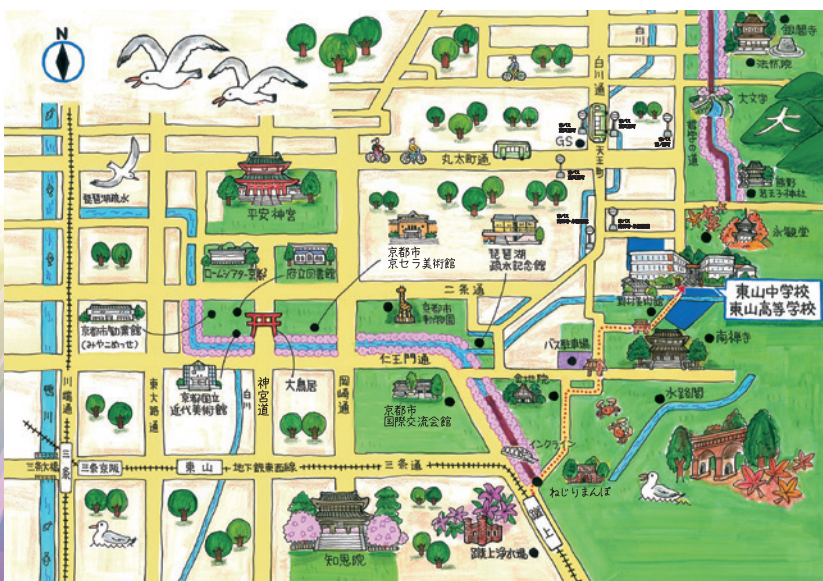
会場 東山高等学校 (京都市左京区永観堂町51)

対象 高校生

主催 京都神経科学グループ
代表 佛教大学保健医療技術学部教授 河田光博
同志社大学脳科学研究科教授 櫻井芳雄

講演 脳科学の過去・現在・未来

伊佐 正 先生 (京都大学医学研究科神経生物学分野 教授)



【交通機関】・京都市バス「南禅寺・永観堂道」下車 東へ徒歩5分
・京都市バス「東天王町」下車 東南へ徒歩6分
・地下鉄東西線「蹴上」下車1番出口 北へ徒歩約10分

【担当者連絡先】 玉井克樹 (東山中学高等学校 進路指導部) k_tamai@higashiyama.ed.jp
澤田真成 (東山中学高等学校 土台文化教育開発センター) hr_sawada@higashiyama.ed.jp

【総合事務局】

〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階 (株)アクティブネット
E-mail: brain@activenet-tv.jp

<http://www.braincentury.org/>